

長野県観光の地域特性について

1 現行計画の状況

○ 全国で4番目の広さを誇り、南北に長い長野県は、異なる気候・風土のもと、地域それぞれに多彩な特性を有する。

○ このため、現行の「観光立県長野」再興計画では、それぞれの地域特性に応じた戦略を立て観光振興を図る必要があることから、地方事務所の圏域である10エリアごとに、地域特性を生かした発展方向・施策展開を、「エリア別の観光振興施策」として取りまとめた。

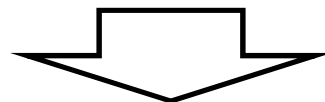


2 各地域の特性

地域	主な地域特性
佐久	➤千曲川の最上流に位置。 ➤軽井沢高原をはじめ、我が国有数の高原リゾートエリア。 ➤冷涼な気候を生かした高原野菜など豊富な農林水産物や文化財・史跡等を有する。
上小	➤菅平・湯の丸・美ヶ原などの高原、別所や鹿教湯などの閑静な温泉、二つの国宝（安楽寺八角三重塔、大法寺三重塔）に代表される「信州の鎌倉」塩田平、真田氏ゆかりの上田城跡など多様な観光資源がコンパクトに集積。
諏訪	➤諏訪湖や八ヶ岳に代表される雄大な自然環境、諏訪大社・縄文文化など歴史史跡が数多く存在。 ➤多様な美術館・博物館が多数立地。
上伊那	➤中央アルプス、南アルプスに代表される山岳やタカトオコヒガンザクラなどの豊かな自然、美しい景観を有する。 ➤全ての市町村に温泉施設が整備。 ➤また、ローメン、ソースかつ丼など特徴ある食の名物を生みだしている。

地域	主な地域特性
飯伊	➤ 県内最南端に位置。静岡、愛知、岐阜の3県と境を接し、県内で最も温暖な地域。 ➤ 中央アルプスと南アルプスに挟まれた大きな谷の中央を天竜川が流れ、山あいの秘境や温泉などの観光資源と豊かな農産物に恵まれている。 ➤ 歴史的に東西文化が交わる要所でもあり、数百年受け継がれてきた民俗芸能や祭りが多数残る文化的地域。
木曽	➤ 歴史的文化的資源が多く、旧中山道の町並みは海外からも注目される。 ➤ 信仰の山、御嶽山をはじめ、木曽駒ヶ岳、山麓の高原等では本格的な自然を体験可能。 ➤ 伝統工芸や独特の食文化が継承され、人と自然が調和した文化的景観を残す。
松本	➤ 北アルプス、上高地、乗鞍、美ヶ原高原など日本を代表する山岳景観、浅間・白骨など多くの温泉地、安曇野の田園風景など豊かな自然に恵まれている。 ➤ また、松本城、奈良井宿などの歴史遺産、多くの美術館、サイトウ・キネン・フェスティバルに代表される文化・芸術活動などの文化遺産。 ➤ さらにワインやわさびなどの特産品が豊富。
大北	➤ 恵まれた自然を活用したスキー場、立山黒部アルペンルート、文化・芸術施設を有する。 ➤ また、森林セラピー、スポーツ合宿やウォーキングを目的とした観光への取組が開始。

地域	主な地域特性
長野	➤ 国宝善光寺を中心に四季折々の自然や風情ある温泉を有し、歴史・文化の香る街並みなど豊富な観光資源を有する。 ➤ オリンピックを開催した知名度や、北陸新幹線の延伸による交流人口の拡大が見込まれる。
北信	➤ 県内最北端に位置。 ➤ 豊かな自然と人々の生活、文化、歴史が「日本のふるさと」と呼ばれる風情を織り成す。 ➤ 国内有数のスキー場を中心とした雪国ならではのスポーツ、レジャーや湯量豊富な温泉が人々を魅了するエリア。



3 地域ビジョンの重要性

○ 長野県は地域それぞれに多彩な特性を有しており、また、これからの観光振興にあたっては、地域全体で魅力づくりや発信に取り組むことが重要となっているため、「地域ビジョン」の中でその具体的な方向性を示すこととしてはいかがか。